

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 保 第 59 号 乙 保	氏 名	河井 ちひろ
審査委員	主 査 近 藤 和 也 副 査 葉 久 真 理 副 査 友 竹 正 人		

題 目

The roles and competencies of welfare commissioners supporting children with developmental disorders and their families expected by Japan's public health nurses

(日本の保健師が期待する発達障害児とその家族を支援する民生委員の役割と能力)

著 者

Chihiro Kawai, Tomoya Yokotani, Feni Betriana, Hirokazu Ito, Yuko Yasuhara, Tetsuya Tanioka, Kenji Mori

2023年3月発行 Belitung Nursing Journal 雑誌第9巻第1号に掲載予定

要 旨

本研究は、保健師が期待する発達障害児とその家族を支援する民生委員の役割と能力を明らかにすることを目的とした探索的研究である。本研究では、日本国内の保健師を対象に、発達障害児とその家族を支援する民生委員の役割と能力について Web 調査を実施し、220名の回答を分析した。探索的因子分析(EFA)の結果、役割では「発達障害児とその家族を支援し虐待を予防する役割」「社会資源に繋ぐ役割」の2因子が、能力では「発達障害児とその家族の立場を理解し地域住民につなぐ能力」「発達障害を理解しアセスメントに基づいて支援する能力」の2因子が抽出された。少子社会の中で、子育て環境は大きく変化し、育てにくさを感じる親に寄り添う支援が求められており、中でも発達障害児とその家族には、地域における継続支援が重要となる。本研究により抽出された役割と能力は、保健師が、地域ボランティアである民生委員と連携して、発達障害児とその家族を孤立することなく生活できるように支援する上で重要なものであり、日本独自の制度である民生委員の体制整備を推進する必要性をも示唆している。

本研究は、発達障害児とその家族に求められる支援開発をはじめ、民生委員への教育や制度改革に貢献するものであり、その社会的意義は大きく博士の学位授与に値するものと判定した。